

# 「課題名：クリニカルパスの不眠時指示薬と定数配置薬変更によるベンゾジアゼピン系睡眠薬処方量への影響」について

## ○ 研究の意義・目的

2021年11月から病棟配置薬およびクリニカルパスの不眠時指示薬をベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤から転倒やせん妄の副作用リスクが少ないレンボレキサントとエスゾピクロンに変更しました。本研究では、この入院不眠時指示薬の変更が外来患者の睡眠薬処方に影響を与えるかを明らかにします。外来患者における睡眠薬初回処方のBZ系の割合が減ることが明らかとなれば、多くの病院で睡眠薬処方適正化のための病棟配置薬の変更が進むと期待される。

## ○ 研究対象者

2019年11月から2023年10月31日までの期間中に、広島大学病院の医科に入院または外来受診し睡眠薬が処方された患者さんを対象にします。なお、精神科、小児科、小児外科、15歳未満の患者さんは対象外とします。

## ○ 研究方法

本研究は、匿名化した後の診療録(カルテ)情報を利用して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、身長、体重、アレルギー・副作用歴、血液検査値(血算、腎機能、肝機能、電解質、CRP、ALB)、入院目的、投薬歴、入院中の治療経過、薬剤師記録、せん妄の有無、転倒の有無、不眠の有無です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

## ○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰

## ○ 研究期間 委員会承認後～ 2025年3月31日

## ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

\*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰 (研究責任者)

薬剤師 真志田 絵美子 (担当者)